

令和07年度 第4回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和08年03月03日 午前09時20分～午前10時45分

開催場所 大崎警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、地域課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策
 - (1) 交通人身事故の発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数、死者数ともに前年より減少
 - イ 管内情勢
事故件数
(ア) 事故件数、死者数ともに前年より減少
(イ) 年齢別負傷者数は、未成年者よりも成人が多く、成人の割合が9割超え
(ウ) 状態別では、自動車と自転車が関与する事故が多く、自転車の事故は5割超え
 - (2) 交通事故抑止対策
 - ア 街頭配置、赤色灯点灯走行の強化
 - イ 広報啓発活動
 - ウ 交通違反取締強化
 - エ 道路環境の整備
- 2 犯罪抑止対策
 - (1) 管内の発生状況(2月15日)
 - 特殊詐欺(署長指定犯罪)の現況
本年発生件数・・・0件
昨年発生件数・・・16件 被害総額・・・約1億2300万円
 - (2) 都内における令和7年の特殊詐欺発生状況
 - ア 認知件数・・・4,350件
前年比856件増加、内訳はオレオレ詐欺が最多
 - イ 被害額・・・約281.5億
前年比約128.4億円増加、過去最高の被害額
- 3 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 特殊詐欺の被害者が20代に増加していることから、大学生等若年層に対する特殊詐欺防止の注意喚起をしてもらいたい。

【取組】

 - ア 立正大学の全学生9,752名に対し、大学ポータルサイトを通して警視庁防犯アプリ「デジボリス」の周知を実施
 - (2) 来春から始まる自転車の交通ルールの変更点について教養をしてもらいたい。

【取組】

 - ア 下記内容について説明を実施
 - イ 交通反則通告制度の導入について
 - ウ 対象年齢について(16歳以上)
 - エ 運転免許の行政点数付与はなしについて
 - エ 危険性帯有処分について

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
大崎警察署・地域課活動状況
 - (1) 大崎警察署管内について
 - ア 広さ 約3.2平方キロメートル
 - イ 人口 約6万9千人(約4万1千世帯)
 - ウ 交番 5カ所
駐在所 1カ所
地域安全センター 1カ所

- (2) 大崎署令和7年110番入電件数
 - ア 約1万2千件 一日平均約33件
(102署中70位)
- (3) 第二方面(品川区・大田区)の110番入電状況
 - ア 令和7年110番入電件数
9署中5位 約1万2千件
 - イ 警察官一人あたりの110番件数
9署中2位 約14件
- (4) 交番別110番入電状況
 - 五反田駅前交番 5,413件
 - 西五反田交番 1,927件
 - 目黒駅前交番 1,834件
 - 大崎駅前交番 1,788件
 - 中原口交番 864件
 - 長者丸駐在所 264件
 - 該当なし 57件
- (5) 時間帯別110番入電状況
 - 五反田駅前交番(110番入電最多交番)の入電状況
 - 午後6時頃から日付をまたいで午前3次頃までの時間帯に多く入電あり
- (6) 大崎署110番の内訳
 - 「駐車違反」、「物件事故」等の交通関係が約3割
 - 次いで公害要望、酔っ払い、けんか口論
- (7) 通報内容の特徴
 - 駐車違反～五反田地区(有楽街)が中心
 - 物件事故～単独事故も多数(壁や縁石への衝突等)
 - 公害要望～近隣騒音、路上喫煙、カラオケ(音楽)騒音等
 - けんか～タクシー・飲食店等の料金トラブルを含む
 - 泥酔者～路上やタクシー車内、飲食店内での寝込み等
 - 連絡・誤報～スマートフォンの誤操作が多数
- (8) 警察相談ダイヤル「9110」について
 - 警視庁総合相談センターの紹介
- (9) 不要の110番を減少させる対策
 - ア 不要の110番通報について
 - イ 不要の110番通報に対する取組について
- (10) 110番の正しい利用方法と重要性について
 - 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 警察官が、限られた人員の中で様々な110番対応をしていることがわかった。
 - (2) 夜間帯に閉鎖されている交番があり、できれば閉鎖されないほうが良いが、閉鎖交番の時は、警察署につながる電話があるので安心できている。
 - (3) 不必要な110番を減らすことが重要で、自分達でも110番について考えることが大切だと思った。
 - (4) 自宅に泥棒に入られて110番したことがあるが、直ぐに複数の警察官が来てくれてとても安心した。
 - (5) 警察官が困る110番が増えていることを知らなかったので、9110や不要な110番通報について地域の方々に知ってもらうために、もっと啓蒙活動をしてよいのではないかと感じた。

[その他の意見要望等]

- (1) 警察署で子供達が剣道、柔道を習うことができる少年柔剣道は、先生がしっかり子供達に向きあってくださり、子供達もとことん自分を成長させることができる有意義な場所だと感じている。
近年、少年柔剣道に通う子供が減少しているように感じており、もっと地域の方々にアピールしてもよいと思うが、自分達がアピールしても良いのか教えてほしい。
- (2) 新学期が始まると大学生の路上喫煙が増加することから、警察や区等の協力を得て路上喫煙対策ができないか一緒に検討していただきたい。
- (3) 本年1月に大崎警察署で行われた防災訓練では、電気自動車を使用した信号滅灯訓練をしていた。
とても良い対応策だと感じたので、今後、警察で電気自動車の使用を増やしたり、管内の自動車販売会社等と連携して災害時は協力を仰ぐ等をしてほしいと感じた。

その他

令和8年度第1回会議は、7月中旬開催予定

令和07年度 第3回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年12月17日 午前09時20分～午前11時30分

開催場所	大崎警察署 講堂	出席者	協議会委員 6名 署長ほか 3名
------	----------	-----	---------------------

内 容

会議に先立ち、警備課長の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策
 - (1) 交通人身事故の発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数は前年より増加、死者数は前年より減少
 - イ 管内情勢
事故件数
(ア) 事故件数、死者数ともに前年より減少
(イ) 年齢別負傷者数は、未成年者よりも成人が多く、成人の割合が8割、高齢者の割合が1割
(ウ) 状態別では、自動車と自転車が関与する事故がそれぞれ約3割を占める。
 - (2) 交通事故抑止対策
 - ア 街頭配置、赤色灯点灯走行の強化
 - イ 広報啓発活動
 - ウ 交通違反取締強化
 - エ 道路環境の整備

- 2 犯罪抑止対策
 - (1) 管内の発生状況(12月1日時点)
特殊詐欺(署長指定犯罪)の現況
件数・14件 被害総額・約1億2,328万円
 - (2) 都内における10月末の特殊詐欺被害状況
 - ア 認知件数・3,624件
前年比920件増加、特徴の内訳はオレオレ詐欺が最多
 - イ 被害額・約236億8,000万円
前年比140億3,000万円増加、過去最高の被害額
 - ウ 未然防止件数・1,455件
前年比645件減少
 - エ 未然防止額・約16億2,000万円
前年比6億4,000万円増加
 - オ 職種別未然防止状況
コンビニ店員が約33.6%、次いで金融機関職員が約33.2%
 - カ 予兆電話・約4万5,000件
「+」で始まる国際電話からの架電が約8割
 - (3) 警視庁防犯アプリ「デジボリス」の新機能について
国際電話ブロック機能の紹介
 - (4) 品川区と品川4署によるコンビニサポートボリス制度について
警察官が管内コンビニ店に定期的に巡回訪問、最新情報発信
 - (5) 犯罪抑止広報啓発活動
 - ア 地域安全運動(10月11日から20日まで)
「品川区地域安全のつどい」(10月10日)
 - イ 各種イベント等における広報啓発活動
「しながわ夢さん橋2025」(10月12日)
「大崎ニューシティにおける特殊詐欺注意喚起啓発活動」(10月16日)

- 3 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 大学と警察の協働で大学生に対する交通ルールの啓蒙活動の実施をお願いしたい。

【取組】

- ア 立正大学と協働の交通パレードの実施(11月1日)
- イ 立正大学学園祭での交通啓発活動の実施(警察ブース設置)(11月1日)
(ア) 電動キックボードの展示及び安全な乗り方の説明

- (イ) 自転車ヘルメットの展示及び着用促進活動
- (ウ) 年末に向けての交通事故防止対策
- (エ) 反射材の貼付活動及び配布
- (オ) 震災発生時の交通規制対策
- ウ 立正大学校門前における交通ルール遵守啓発活動(12月8日)
- (2) 年末にかけての治安維持の取組について知りたい。
- 【取組】
- ア 特別警戒JR列車警乗(12月15日～12月31日)
- イ 年末繁華街合同パトロールの実施(12月19日)
- 大崎警察署、品川区、町会合同で東五反田のパトロールを実施

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
テロを許さない街づくり
- (1) 過去に発生したテロ事件等
 - ア 地下鉄サリン事件(1995年3月20日)
 - イ アメリカにおける同時多発テロ事件(2001年9月11日)
 - ウ 京王線電車内無差別刺傷事件(2021年10月31日)
 - エ 自民党本部火炎瓶投下・首相官邸車両突入事件(2024年10月19日)
- (2) 大崎署の管内実態
 - ア オフィスビル多数存在
 - イ JR大崎駅をはじめ複数の鉄道路線が走る交通ハブを擁する。
 - ウ 駅周辺に複合施設が複数存在
 - エ 管内に所在する駅等の利用者は、一日平均100万人を越える。
- (3) 管内でのテロ等が発生する危険性
不特定多数の人々が集まる施設や公共交通機関等を標的としたテロ事案が発生するおそれ
- (4) 地域版パートナーシップの必要性
警察、行政、地域住民、民間事業者等による「対等かつ横断的なネットワーク」を基本理念とする「地域版パートナーシップ」を構築
官民一体となった「テロを許さない街づくり」の推進の必要性
- (5) パートナーシップ推進の柱
 - ア 合同訓練
企業や大規模商業施設との合同訓練
 - イ 研修会
 - ウ 合同パトロール・合同キャンペーン
 - エ 情報発信
 - オ 大学新入生に向けた広報活動
 - カ 不特定多数の人々が集まる場所や公共交通機関等への対策
- 2 協議会からの意見要望等
- (1) 今までテロを身近に感じていなかったが、ニュース等で海外でのテロ事案を知ることが増え、日本でもあり得ることを感じるようになった。官民一体となり、もっとテロに対する関心を持つ必要があると感じた。
- (2) 大崎は20万人規模の大規模の街となり、住民・企業共にテロへの意識付けが必要だと思った。また、テロ対策訓練について大々的に広報し、多くの方に訓練を見てもらい、テロへの意識を高めてもらいたいと思った。
- (3) 電車やバス等を利用する時もテロへの意識を高め、地域住民の一人一人が不審者等に目を光らせ、テロを起こす隙を与えない街づくりが必要だと思った。
- (4) 交通や防犯に関するチラシが、まだ様々な年齢層の方に届いていないと感じる。高齢者の方々が集まりやすい交通安全運動期間中のテントや様々な年齢層の方が集まる町のイベント等で配布し、注意喚起をしてもらいたい。
- (5) 特殊詐欺の被害者に20代が増加していることに驚いた。大学生等若年層に対する特殊詐欺防止の注意喚起をする必要があると思った。

[その他の意見要望等]

- 1 大学生の路上喫煙が増加しており、路上喫煙を防ぐ効果的な施策があれば教えていただきたい。
- 2 来春から自転車に関する交通ルールが変更となるため、変更点について教養をして

その他	令和7年度第4回会議は、3月中旬開催予定
-----	----------------------

令和07年度 第2回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年09月26日 午前10時00分～午後00時00分

開催場所 大崎警察署 講堂
出席者 協議会委員 6名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、交通課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

1 交通事故防止対策

(1) 交通人身事故の発生状況

ア 都内情勢

事故件数、死者数ともに前年より増加

イ 管内情勢

(ア) 事故件数

・ 事故件数、死者数ともに前年より増加

・ 年齢別負傷者数は、未成年者よりも成人が多く、特に65歳以上の高齢者の割合が多い。

・ 状態別では、自動車と自転車が関与する事故がそれぞれ3割を超える。

(イ) 死亡事故の発生

山手通り交差点における自転車と自動車の衝突事故

自転車に乗車した高齢男性が死亡(7月30日)

(2) 交通事故抑止対策

ア 悪質・危険性の高い違反の交通指導取締りの強化

イ 朝の時間帯における街頭配置の強化

ウ 赤色灯点灯走行

エ 交通安全講話、交通安全教室の実施

オ 重大交通事故未然防止の好事例

本年1月から8月の間に5名のタクシー運転手の方が深夜帯に路上で寝込んでいる男性を発見の上、110番通報後、見守る等して事故を未然防止した。

2 犯罪抑止対策

(1) 管内の犯罪発生状況(9月15日時点)

特殊詐欺(署長指定犯罪)の現況

ア 件数・・・9件発生

イ 被害総額・・・約7,152万円

(2) 令和7年度上半期の特殊詐欺被害状況

ア 認知件数・・・2,163件

イ 被害額・・・約150億7,000万円

ウ 被害者層

高齢者だけでなく、まんべんなく20代から60代と幅広い年齢層

エ 最近の特殊詐欺被害の特徴

警察官かたりのオレオレ詐欺が9割

オ オレオレ詐欺の被害者層

年代別・・・60歳以下が約9割

職業別・・・会社員等の現役世代が約8割

カ 被害金の交付形態

(ア) ネットバンキングの振込、暗号資産利用が約7割

(イ) 以前の現金手交、現金振込等から変化

キ 警察官かたりのオレオレ詐欺の手口特徴

犯行利用番号・・・国際電話によるアポ電が約6割

3 協議会からの意見要望の取組結果について

(1) 悪質な運転をする車、自転車、電動キックボード等を見掛けるので、交通ルール遵守の意識向上や効果的な取締りをお願いしたい。

【取組】

ア 自転車の交通違反、酒酔い・酒気帯び運転、速度超過違反等の交通指導取締り

イ 管内小学校、老人クラブ、町会長会議等における、子供や高齢者に対する交通安全指導及び交通事故防止対策の講話を実施

ウ 秋の全国交通安全運動(9月20日から30日まで)

- (ア) 出動式(9月19日)
城南信用金庫をはじめ管内企業等が参加
品川ケーブルテレビの取材を受け、交通課長代理が「交通ルールの遵守と交通事故防止について」広く呼び掛けた。
 - (イ) 大崎思いやり・ゆずり合い交通安全のつどいの実施(9月23日)
タレントの「AMEMIYA」さんを一日警察署長に迎え、ゲートシティ大崎のゲートシティホールにおいて、交通ルールの遵守等の広報活動を実施
 - (2) 都内で外国人が増加していると感じる。夜間帯のコンビニエンスストア等における集りや人声騒音等の問題があるため、パトロールを強化してほしい。
- 【取組】
- ア 犯罪発生地区等における集中的な職務質問の実施
 - イ 品川区と品川4署によるコンビニサポートポリス制度の締結(9月24日)
 - (ア) 管内コンビニ店に警察官が定期的に訪問(巡回)
 - (イ) 防犯に関する最新の情報発信、情報提供

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
重大交通事故防止対策の推進
 - (1) 重大交通事故防止対策の概要
 - ア 交通街頭活動の強化
 - (ア) 事故発生場所における街頭配置及び住民への注意喚起
 - (イ) 重大交通事故につながる交通違反の指導取締りの強化
 - イ 交通安全啓発活動
 - (ア) 自転車安全対策
 - (イ) 高齢者を対象とした啓発活動
 - (ウ) 全国交通安全運動
 - ウ 道路環境の点検・整備
 - エ 路上横臥者に対する対策
 - (2) 交通死亡事故の発生について
 - (3) 交通死亡事故の分析・検証
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 事故を検証し、対策が講じられていることを知り、大変勉強になった。
 - (2) 歩けないことから自転車に乗る高齢者も多いので、今後も高齢者に対する交通安全対策を行ってほしい。
 - (3) 横断歩道を横断しようとする人がいる時に車両が停止するようになってきており警察の取締りの効果を感じている。
 - (4) 大学で勤務しているが、通学時の歩道上の自転車マナー等について問合せを受けることが多いので、今後大学と警察が協働して大学生に交通ルールの啓蒙活動ができれば嬉しい。
 - (5) 子供、若者、高齢者と世代別に交通安全活動の広報啓発活動が行われていることを知った。もっと多くの方々に警察の取組について知ってほしい。
 - (6) 犯罪抑止で特殊詐欺の話があったが、高齢者はスマートフォンの操作が苦手な方が多いので、スマートフォンの操作も含めた初歩的な特殊詐欺防止対策について、高齢者に伝えてほしいと思った。
 - (7) コンビニサポートポリス制度を品川区と品川4署で締結されることを知った。夜間は特に様々な人達がコンビニエンスストアを利用しているので、今回の制度はとも都民の方々の安心につながると思った。

[その他の意見要望等]

大崎は五反田等の繁華街もあり、夜間帯は様々な人達が集まり、酔っ払いも多いので、年末にかけてどのような治安維持の取組をしているのか知りたい。

その他	令和7年度第3回会議は、12月中旬開催予定
-----	-----------------------

令和07年度 第1回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年06月26日 午前10時40分～午後00時00分

開催場所 大崎警察署 講堂
出席者 協議会委員 7名
署長ほか 3名

内容

会議に先立ち、会長、副会長を互選した。
また、生活安全課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策
 - (1) 交通人身事故の発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数、死者数ともに前年より減少
 - イ 管内情勢
事故件数、死者数ともに前年より減少
年齢別では、未成年者より成人が当事者になることが多く、特に65歳以上の高齢者が1割超え
状態別では、自転車が関与する事故が3割超え
 - (2) 交通事故抑止対策
悪質・危険性の高い交通指導取締りの強化
- 2 犯罪抑止対策
 - (1) 管内の犯罪発生状況(6月15日時点)
特殊詐欺(署長指定犯罪)の現況
 - ア 件数・既に9件発生(7件がオレオレ詐欺)
 - イ 被害総額・約1,700万円
 - (2) 特殊詐欺防止の注意喚起
 - ア 発生手口の傾向
(ア) NTTや警察をかたる手口
国際電話の番号でかかってくることが多い。
 - (イ) 有効な対策
「国際電話番号発着信無償休止サービス」の教示
 - イ 被害防止好事例の紹介
管内銀行職員の声掛けによりSNS型投資詐欺の被害を防止した事例
 - (3) 検挙事例紹介
アポ電を受けた方お宅の協力を得て「だまされた振り作戦」を行い、特殊詐欺の受け子の少年1名を検挙し、さらに後日、同じお宅の協力を得て、別件の特殊詐欺の受け子1名を検挙した。
過去にも同じお宅で「だまされた振り作戦」により特殊詐欺の受け子を検挙しており、これまで3名の受け子の検挙に貢献している。
- 3 協議会からの意見要望の取組結果について
 - (1) 電動キックボードで危険な運転をする者が増加しているため、取締りを強化するとともに利用者に向けて交通ルールの広報をしてほしい。

【取組】

 - ア 特定小型原動機付自転車の指導取締り
電動キックボードの取締りは56件(4月1日から6月15日までの間)
 - イ 悪質・危険性の高い電動モビリティや自転車の交通指導取締り
 - (ア) 日本テレビの密着取材を受け、「news every.」で放映
 - (イ) 夜間帯の取締りでは、自転車の酒気帯び運転を検挙
 - (ウ) 日中帯の取締りでは、自転車の赤信号無視、電動キックボードの歩道通行、ペダル付電動バイクのヘルメット着用義務違反等を検挙
 - ウ 春の全国交通安全運動(4月6日から15日まで)
 - (ア) 出動式(4月4日)
城南信用金庫をはじめ管内企業等が参加
品川ケーブルテレビの取材を受け、交通課長が「交通ルールの遵守と交通事故防止について」広く呼び掛けた。
 - (イ) キャンペーンの実施(4月6日)
「大崎思いやり・ゆずり合い交通安全キャンペーン～無事カエル運動～」

目黒駅前において立正大学チアリーディング部の協力を得て開催
(2) 夜間帯の五反田駅周辺のキャッチ、酔っ払いの寝込み等の治安対策について

【取組】

- ア 五反田駅周辺の店舗に立入を行い、一部店舗に行政指導をした。
- イ 環境浄化対策(5月20日)
五反田有楽街において売春防止法違反被疑者を9名検挙

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
少年の健全育成の取組
 - (1) 少年係の概要
 - ア 少年育成
 - (ア) 非行・被害少年を生まない社会づくり
 - (イ) 有害環境の浄化対策、街頭補導、少年相談
 - イ 少年事件
 - (ア) 少年による犯罪捜査・触法捜査
 - (イ) 福祉犯(少年を被害者とした犯罪)
 - (2) 少年の健全な育成活動
 - ア 非行・被害少年を生まない社会づくり
 - (ア) 年齢や発達段階に応じた非行防止教室等の実施
セーフティ教室、薬物乱用防止教室の開催
 - (イ) 学校や関係機関との連携強化
不審者対応訓練等
 - (ウ) 少年の社会参加活動の推進
少年柔剣道、農業体験、清掃活動
 - イ 少年を取り巻く有害環境の浄化対策
スマートフォン等の普及を踏まえたインターネット利用に係る非行や犯罪被害を防止する為の取組の推進
 - ウ 不良行為少年に対する街頭補導活動
 - (ア) 時代の変遷に応じた効果的な街頭補導活動の推進
 - (イ) 少年警察ボランティア等との連携
 - エ 少年相談活動の推進
効果的な相談活動の推進(少年相談受理、児童相談所への通告等)
- 2 協議会からの意見要望等
 - (1) 小学校における薬物乱用防止教室を視察したが、知っているようで知らなかったことがたくさんあり、とても勉強になった。
 - (2) 今回の薬物乱用防止教室をもっと大勢の方々に見てもらいたいと思った。薬物以外の安全教室等について、親子で参加する教室の開催や地域の方々を集めて開催することを検討していただきたい。
 - (3) 薬物使用の低年齢化が進んでいることを知り、大変勉強になった。
 - (4) ロールプレイや意見発表等、参加型の教室を開催し、子供が身近な問題と感ずることができる機会を作ってもらいたい。
 - (5) 薬物使用の低年齢化が進んでいるため、小学生に対し薬物摂取の危険性を伝えてもらいたい。
 - (6) 今回の教室で学んだ内容について家で小学生の子供と一緒に話したいと思った。

[その他の意見要望等]

- 1 悪質な運転をする車、自転車、電動キックボード等を見掛けるので、交通ルール遵守の意識向上や効果的な取締りをお願いしたい。
- 2 都内で外国人が増加していると感じる。夜間帯のコンビニエンスストア等におけるい集や人声騒音等の問題があるため、パトロールを強化してほしい。

その他

令和7年度第2回会議は、9月中旬開催予定

令和06年度 第4回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和07年03月21日 午後03時00分～午後05時00分

開催場所 大崎警察署 講堂

出席者 協議会委員 7名
署長ほか 4名

内 容

会議に先立ち、刑事組織犯罪対策課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策
 - (1) 交通人身事故の発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数、死者数ともに前年よりも増加した。
 - イ 管内情勢
 - (ア) 事故件数
昨年よりも減少した。
 - (イ) 死亡事故
乗用車が桜田通りの車道上にいた男性を轢過した事故(昨年12月1日)
 - (2) 交通事故抑止対策
 - ア 街頭配置、赤色灯点灯走行の強化
 - イ 情報発信、広報啓発活動
 - (ア) 新聞折込みによる広報啓発
 - (イ) ボランティアとの協働による街頭キャンペーン
 - ウ 交通違反取締りの強化
 - エ 道路環境の整備
 - (ア) 死亡事故発生場所に交通事故抑止の横断幕を設置
 - (イ) 横断禁止のガードパイプ増設を道路管理者に依頼
- 2 犯罪抑止対策
 - (1) 管内の発生状況(3月15日時点)

署長指定犯罪の特殊詐欺の件数が昨年よりも増加した。
 - (2) 特殊詐欺被害防止の注意喚起
 - ア 発生手口の傾向
 - (ア) 警察官になりすます手口
 - (イ) 実在する警察署の電話番号を着信画面に表示させる手口
 - イ 被害防止好事例の紹介
男子大学生の声掛けによりサポート詐欺の被害を防止した事例
 - (3) 検挙事例の紹介
 - ア 闇バイトに応募した少年1名を強盗未遂事件の犯人として検挙
 - イ 強盗の指示役の男を共犯として検挙
 - ウ 指示役を匿っていた男を検挙

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 警視庁警察犬の活動
 - ア 警察犬の特性
 - (ア) 犬の鋭い嗅覚について
 - (イ) 服従習性等について
 - イ 警視庁で活躍している警察犬の紹介
 - ウ 警察犬の一日の流れ
 - (ア) 起床から就寝まで
 - (イ) 犬舎、食事等
 - (ウ) 訓練状況
 - エ 警察犬が一人前になるまで
 - (ア) 訓練所入所
 - ・ 担当者との親和醸成
 - ・ 飼育訓練を通じた適性判断
 - (イ) 集中性訓練
排便、持来欲・集中性の育成

- (ウ) 服従訓練
- (エ) 追及訓練・臭気選別訓練
足跡追及訓練、能力や特性に応じた臭気選別応用訓練
- オ 警察犬の現場活動事例
- (2) 鑑識活動(指紋採取)について
 - ア 指紋の特性
 - (ア) 万人不同・終生不変
 - (イ) DNAと指紋の違い
 - イ 指紋を活用した捜査
 - ウ 指紋採取体験
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 警察犬が厳しい訓練を経て現場で活躍していることがよく分かった。
 - (2) 事件や行方不明事案等の様々な分野で警察犬が活躍しており、貢献していることが分かった。
 - (3) 鑑識活動がとても緻密な作業であり、高度な技術が必要であることが分かった。
 - (4) DNAと指紋の違いについて説明を受け、鑑識活動が事件解決に重要であることがよく分かった。

[その他の意見要望等]

- 1 少年の違法薬物使用やオーバードーズが話題になっているが、少年の健全育成のため、どのような取組をしているのか教えてほしい。
- 2 電動キックボードで危険な運転をする者が増加しているので、取締りを強化するとともに利用者に向けて交通ルールの広報をしてほしい。
- 3 酔っ払いが寝込んでいたり、キャッチが活動するなどして、深夜帯の五反田駅周辺の治安が悪くなっているように感じるのでパトロールを強化してほしい。

その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 会議に先立ち、警察犬の訓練を視察した。 2 令和7年度第1回会議は、6月中旬開催予定
-----	---

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第3回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年12月18日 午後04時00分～午後05時00分

開催場所 大崎警察署 講堂

出席者 協議会委員 6名
署長ほか 2名

内 容

会議に先立ち、留置課長代理の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策
 - (1) 交通人身事故の発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数、死者数とも昨年より増加傾向
 - イ 管内情勢
 - (ア) 事故件数
昨年より減少傾向
 - (イ) 死亡事故の発生
桜田通り上に寝込んだ男性を乗用車が轢過(れきか)(12月1日)
 - (2) 交通事故抑止対策
 - ア 街頭配置及び警察車両の赤色点灯走行を強化
 - イ 情報発信、広報啓発活動
 - (ア) 新聞折込みによる広報啓発
 - (イ) ボランティアとの協働による街頭キャンペーン
 - ウ 交通違反取締りの強化
 - エ 道路環境の整備
 - (ア) 死亡事故発生場所への交通死亡事故抑止の横断幕設置
 - (イ) 横断禁止のガードパイプ増設を道路管理者に依頼
- 2 犯罪抑止対策
 - (1) 管内の犯罪発生状況(12月17日現在)
 - ア 「自転車盗」及び「万引き」の発生が減少傾向
 - イ 引き続き防犯活動や被疑者の検挙を推進
 - (2) 各種事件の検挙
 - ア 闇バイトに関連する強盗未遂犯人の少年1名を検挙
 - イ 強制執行中のマンション内に死体を遺棄した犯人を検挙
 - (3) 大崎警察署特殊詐欺・闇バイト撲滅キャンペーン(12月16日)
 - ア 関連機関との協働
城南信用金庫、品川区役所、品川税務署、東急電鉄等との合同キャンペーン
 - イ 効果的な広報活動
警察官による寸劇、警視庁音楽隊の演奏等による広報啓発

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 留置業務の重要性
拘禁・処遇の目的に沿った留置施設の適正な管理運営
 - (2) 逮捕から起訴までの流れ
 - (3) 被留置人の生活
 - ア 一日の流れ
 - (ア) 起床から就寝まで
 - (イ) 勤務員の大交代
 - (ウ) 運動等
 - イ 環境・衛生
 - (ア) 居室、食事等
 - (イ) 嘱託医による診療、薬の服用等
 - ウ 被留置人との面会
面接時間、回数、時間制限、立会等
 - (4) 留置場施設の視察
居室、面会室、浴室、運動場等を見学
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 留置業務について

ア 警察が、逃走・証拠隠滅の防止、人権への配慮、自殺防止等を念頭に、留置施設を適正に運営していることがよく分かった。

イ 留置場内では、被留置人の健康を考えて一日の摂取カロリーを計算された食事を準備していることが分かった。

(2) 視察の感想

ア 想像以上に留置場内が綺麗で衛生的だった。

イ 留置場内の設備は逃走防止・自殺防止の対策がなされていて、警察が留置業務を適切に管理運営していることが分かった。

ウ 外国人等、様々な留置人に対応していることを知って、留置業務の大変さを理解することができた。

[その他の意見要望等]

警察に関するテレビドラマを見て、指紋採取等の鑑識活動が犯人検挙につながることを知ったので、鑑識活動について教えてほしい。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第2回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年09月27日 午後04時00分～午後05時00分

開催場所 大崎警察署 講堂

出席者 協議会委員 4名
署長ほか 3名

内 容

会議に先立ち、地域課長の出席について、各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故防止対策
 - (1) 交通人身事故の発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数、死者数とも前年より増加
 - イ 管内情勢
 - (ア) 事故件数
昨年と同数
 - (イ) 死亡事故
本年6月に交通死亡事故発生「ゼロ」達成(1年間)
 - (2) 秋の全国交通安全運動
 - ア 大崎交通安全安心キャンペーン(9月21日)
お笑いタレント・ゆうたろう氏を一日警察署長に招致
 - イ 交通安全キャンペーン(9月30日)
パリ五輪銀・銅メダリスト橋本壮市選手を迎えて目黒駅前広場で実施
 - (3) 交通事故抑止対策
 - ア 悪質交通違反の取締り
 - イ 電動キックボード・ペダル付原動機自転車(モペット)の取締り強化
- 2 管内の犯罪発生・検挙状況
 - (1) 管内の犯罪発生状況(9月25日現在)
 - ア 「自転車盗」及び「万引き」の発生は減少(昨年比)
 - イ 引き続き防犯活動や被疑者の検挙に努める。
 - (2) 各種事件の検挙
 - ア ロマンズ詐欺犯人の検挙
 - イ 大崎駅における仮睡者狙い犯人の検挙
 - ウ 大崎駅線路内を逃走した不同意わいせつ・威力業務妨害犯人の検挙
 - エ 管内飲食店における窃盗(金庫破り)事件犯人の検挙
 - (3) 男子大学生への感謝状贈呈
 - ア 9月6日、男子大学生が大崎駅構内で仮睡者盗犯人を現行犯人逮捕
 - イ 功労を讃えて署長から感謝状を贈呈

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
 - (1) 管内概要と地域課の活動
 - ア 大崎署管内の概要
 - (ア) 面積・人口、交通環境、外国公館の所在等
 - (イ) 110番の入電状況と内容
 - イ 地域課について
 - (ア) 課員数・各交番
 - (イ) 令和6年度上半期の実績
検挙数、交通取締り件数
 - (2) 公務執行妨害事案
 - ア 都内の発生状況(令和6年度上半期)
 - (ア) 発生件数、被害者(警察官)数
 - (イ) 取扱状況と犯人の特徴
攻撃手段、飲酒状況等
 - イ 受傷事故防止対策
 - (ア) 特別点検の実施
 - (イ) 朝稽古等の各種術科訓練
 - (3) 地域警察官による総合対処法訓練(委員が視察)
 - ア 1名(男性被疑者役)対3名(男性警察官2名、女性警察官1名)

- イ 耐刀ジャンパー、耐刀長手袋装着、刺股・警じょう等を使用
- ウ 後ろ固め、前固めで制圧
- 2 警察署協議会からの意見要望等
 - (1) 公務執行妨害事案について
 - ア 酔っ払いを取り扱う際の公務執行妨害事案が多いようだが、夜間は五反田駅や大崎駅周辺にも酔っ払いが多いので、署員の皆さんは大変だと思う。
 - イ 地域警察官は様々な取扱いを行い、常に相手から殴打されたり、刃物で攻撃されたりするおそれがあると分かったので、受傷しないため訓練に励んでほしい。
 - (2) 総合対処法訓練を視察して
 - ア 臨場感あふれる訓練を拝見し、この街に住む安心を感じることができた。
 - イ 警察官は、様々な資機材を活用して凶悪犯と対峙し、犯人の負傷にも配慮して逮捕・制圧していることが分かった。
 - ウ 警察官が受傷事故防止のため日頃から実践的な訓練に励んでいることが分かったので、今後も各種訓練に励み都民の安全と安心に尽力してほしい。

[その他の意見要望等]

総合対処法訓練を通じて犯人の逮捕までの流れがよく分かったので、逮捕後の犯人の取扱いや警察署内の留置施設についても教えてほしい。

その他	令和6年度第3回会議は12月中旬開催予定
-----	----------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

令和06年度 第1回 大崎警察署協議会 議事概要

開催日時 令和06年06月21日 午後04時00分～午後05時10分

開催場所 大崎警察署 講堂
出席者 協議会委員 6名
署長ほか 5名

内 容

会議に先立ち、警備課長及び警備係員の出席について各委員から了承を得た。

[業務説明]

- 1 交通事故関係について
 - (1) 交通人身事故発生状況
 - ア 都内情勢
事故件数、死者数ともに前年より増加
 - イ 管内情勢
 - (ア) 事故件数は前年より増加
 - (イ) 死亡事故の発生はなし
 - (2) 交通事故防止対策
 - ア 悪質交通違反の取締り
 - イ 電動キックボード・ペダル付原動機自転車（モペット）の取締り強化
- 2 特殊詐欺対策について
 - (1) 特殊詐欺専門チームの発足
 - (2) 犯人の検挙
本年5月下旬に管内で発生した手交型特殊詐欺事件の被疑者を検挙
- 3 各種犯罪の検挙
 - (1) 特別捜査本部の設置
 - ア 栃木県那須塩原警察署管内発生 of 男女殺人・死体損壊事件
 - イ 指示役から実行役にいたるまで被疑者6名を検挙
 - (2) 詐欺事件の検挙
 - ア 管内で発生した結婚詐欺事件
 - イ 被疑者を北海道函館市において検挙

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
大規模震災への備えについて
 - (1) 基本的な姿勢
 - ア 災害被害を少しでも減らすため、いつ発生するか分からない災害に備える。
 - イ 自分でできること、家族でできること、隣近所で力を合わせてできること等を考える。
 - ウ 相互扶助の意識を高め、「自助」、「公助」、「共助」の輪について重要性の再認識を促す。
 - (2) 災害の情勢
 - ア 全国各地で相次ぎ発生する災害
 - イ 大崎管内の災害情勢
 - (3) 災害発生時の警察活動
 - ア マンパワーの確保
 - イ 現場警備本部の設置
 - ウ 災害現場活動
 - (ア) 救出救助活動
 - (イ) 交通対策
 - エ 時間経過に伴う各種活動
 - (ア) 行方不明者の捜索・調査
 - (イ) 御遺体の検視
 - (ウ) 治安維持活動
 - (エ) 被災者支援活動
 - (4) 警察活動への「備え」
 - ア 管内事業者との協定締結
 - イ 各種災害訓練の推進
 - ウ 食事環境やトイレ環境の整備
 - エ 各種資機材の展示

オ 非常食の試食

(5) 自助・公助・共助の輪

2 警察署協議会からの意見要望等

(1) 水で膨らむ土嚢(どのお)や靴のステンレス製中敷き等、災害時の資機材を見ることができて非常に参考になった。災害時に配布されると大変助かるが、自分でも購入して自宅に備えたい。

(2) 災害時の非常食を試食したところ、思っていたよりも美味しいことに驚いた。

(3) 大崎警察署が大規模震災への備えとして様々な取組を行っていることを、よく理解できた。

(4) 今後も警察職員自身が各種訓練に励み、都民の安全と安心に尽力してほしい。

[その他の意見要望等]

刃物使用の犯罪や拳銃発砲事件等が発生しているが、大崎警察署における凶悪犯罪の具体的な対処要領(装備品や制圧訓練等)を教えてほしい。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。